

## 2021年度 第1回 予防医療科学センター倫理委員会 議事録

1. 日 時 2022年1月13日(木) 午後6時30分～午後6時55分
2. 場 所 大学病院・討議室2
3. 出席者 森谷 満 教授、舞田健夫 教授、磯部太一 講師、  
宮永尊文 弁護士、長谷佳子 大学病院看護部師長、梶美奈子 歯科衛生士長  
斎藤浩昭 医療管理部長、陣内康行 病院事務課係長  

(以上9名)
- (事務担当) 宮崎智子病院事務課係長
4. 欠席者 遠藤 泰 教授
5. 議長 委員長 森谷 満 教授
6. 議 事

森谷委員長より、予防医療科学センター倫理委員会内規5条に定める成立要件「委員の3分の2以上(6名以上)の出席があり、第3号委員(宮永委員)の出席があること」を満たしているとの確認があり、委員会を開催した。

森谷委員長より、本日の議案は審議事項2件であるとの説明があった。

### <審議事項>

#### 1. ホワイトコーティングワイヤーによる歯牙の排列効率および審美性に関する研究

実施責任者 歯科矯正科 教授 飯嶋 雅弘

受付番号 第2021-015号

飯嶋教授より、資料に基づき、「ホワイトコーティングワイヤーによる歯牙の排列効率および審美性に関する研究」について、説明があった。

長谷委員より、コーティングが剥がれた物質を嚥下しても体内に影響がなく審美性に優れているのでやる意味は大きいのか。今回使用する商品は1つなのか複数なのかについて質問があり、

飯嶋教授より、体内に影響はなく、データを出すことによって歯科矯正の優位なデータになるのではないかと。今回使用するのは1種類である旨回答があった。

宮永委員より、ワイヤー交換頻度と矯正年数についての質問があり、

飯嶋教授より、1月に1回、一般的には2年間、年齢や症例により異なる旨回答があった。

梶委員より、抜歯・非抜歯の関係について質問があり、

飯嶋教授より、従来報告では分けての研究がなかったので有意義なデータが出るとの回答があった。

質疑の後、審議に入った。

本院において、当該研究を行うことの可否について、挙手による採決を求め、全員の了承を確認した。

## 2. 消防職員のコミュニケーション力の向上を目的としたコーチング研修の試み

実施責任者 センター 教授 森谷 満

受付番号 第 2021-013 号

森谷教授より資料に基づき、「消防職員のコミュニケーション力の向上を目的としたコーチング研修の試み」について、説明があった。

長谷委員より、研究の鱸先生に契約をした職員の中からリクルートを行い、事業所単位で任意参加し個人で支払うのか、業務の一環で契約されているのか。消防職員・産業医・産業保健師は自分の所属する休職率や離職率について把握されているのかについて質問があり、森谷教授より、任意参加で参加者が支払いを行う、把握されているとは限らないと回答があった。

質疑の後、審議に入った。

本院において、当該研究を行うことの可否について、挙手による採決を求め、全員の了承を確認した。

以上、議事の過程及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長捺印をする。

2022年1月13日

委員長 森谷 満